

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)  
【単独事業】

市町名	茂木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	もてぎうまいもの市開催事業	総事業費	3,224,150					3,224,150
		うち市町支出額	3,000,000					3,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
2	もてぎ里山ウォーク大会開催事業	総事業費	2,771,627					2,771,627
		うち市町支出額	1,350,000					1,350,000
		うち県交付金	675,000					675,000
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,995,777	0	0	0	0	5,995,777
		うち市町支出額	4,350,000	0	0	0	0	4,350,000
		うち県交付金	1,675,000	0	0	0	0	1,675,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	茂木町
事 業 名	もてぎうまいもの市開催事業
事業主体の名称	もてぎうまいもの市実行委員会
代表者の名称	実行委員長 古口 達也
事業主体の所在	321-3531 栃木県芳賀郡茂木町大字茂木141
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 中心市街地活性化を図る事業の検討並びに実践することを目的とする。</li> <li>・設立年月日: 平成24年4月1日</li> <li>・構成員等: 茂木町長、商工会会長、地元行政区長、旅料飲組合加盟店 等 事務局含め47名</li> <li>※実行委員会事務局は商工会内にあり、うまいもの市の実行に限定した予算管理をしている。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	茂木町では地域資源を活用した地域おこしやコミュニティビジネスが盛んに行われ、特産品を活かした6次産業化にも取り組んでいる。平成27年度の「もてぎうまいもの市」では、夏、秋、冬の計3回開催し、秋のうまいもの市では約7,500人が来場し大変な賑わいであった。しかしながら、特産品や食メニュー等を通じた町の魅力発信については、まだまだ不十分であり、認知度が低い状況であるため、町外からの誘客及び新たな観光客の確保といったPR戦略が課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食」通じた市街地の賑わいづくり</li> <li>・本町の地域資源を活かした特産品や食メニューによる町の魅力の発信。</li> <li>・地方創生総合戦略に掲げた新たな観光客の開拓</li> </ul>
事業概要	<p>町の特産品であるそばやゆず、良質な美土里堆肥から育てた新鮮でおいしい野菜を使った自慢の「食」メニューや、趣向をこらした日級グルメを集めた「もてぎうまいもの市」を開催している。</p> <p>今年度においては、本町の食を通じた町の魅力をより広く伝えるため、これまで年3回の開催であったところ、他のイベントと連携し、年4回のうまいもの市を開催した。(5回計画したが、③彼岸花まつりと連携したうまいもの市は荒天等の影響により未実施)</p> <p>特にメインイベントの「秋のうまいもの市」では、同時開催の里山ウォークとの連携により、来場者数が昨年度の7,500人から9,000人に増え、安全で安心な特産品や自然豊かな本町の魅力をより多くの方にPRすることができた。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: ①春のうまいもの市(4月9,10日、茂木城山公園、ふるさと茂木春まつりと同時開催) 入込客数3,000人</li> <li>②夏のうまいもの市(7月3日、市街地縦町どおり、あさがお・ほおずき市と同時開催) 入込客数2,000人</li> <li>③彼岸花まつりうまいもの市(9月17~19日) ※荒天等の影響もあり未実施</li> <li>④秋のうまいもの市(10月30日、ふみの森もてぎ及び市街地横町通り、里山ウォークと同時開催) 入込客数9,000人</li> <li>⑤冬のうまいもの市(1月7日、市街地縦町どおり、新春商工会まつりと同時開催) 入込客数4,000人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出店者: 旅料飲組合、商工会員、コミュニティビジネス団体 等</li> <li>・事業内容: 日級グルメイベント、ステージショー、アトラクション、大抽選会等</li> <li>・情報発信: 各うまいもの市開催時にチラシ5,000枚を配布、メインイベントとなる秋のうまいもの市ではポスター434枚を参加店を始め、真岡鉄道各駅、近隣高校、宇都宮市及び芳賀郡管内、茨城県隣接市町の大形店や道の駅、関係官公庁施設に掲示した。また、郡内への新聞折り込みやインターネット、ケーブルテレビを活用すると共に県内外マスコミ各社へ情報提供しPRの強化を図った。さらに同時開催イベント参加者にも当日用チラシを作成し配布した。</li> </ul> <p>【平成29年度】・今年度の反省点を整理し、他のイベントとの連携強化を図った効果的なPRと新たな観光客の確保を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 安心して定住・交流できる「まち」をつくる</p> <p>数値目標: 観光入込客数 H31目標値: 3,000,000人/年、基準値(H26): 2,659,932人/年</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	もてぎうまいもの市 (年5回)の開催				
事業費	3,224,150			3,224,150	
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000			3,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	224,150	0	0	224,150	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	茂木町企画課企画係
担当者名	佐藤 雅美
電話	0285(63)5619
連絡先 FAX	0285(63)0459
E-mail	kikaku@town.motegi.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	もてぎ里山ウォーク大会開催事業
事業主体の名称	もてぎ里山ウォーク大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 古口 達也
事業主体の所在	321-3531 栃木県芳賀郡茂木町大字茂木143-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「もてぎ里山ウォーク大会」を開催し、町内外から多くの参加者に茂木町の豊かな自然の中を歩いてもらうことにより、茂木町の魅力をPRするとともにさらなる地域活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:平成24年4月16日</p> <p>・構成員等:茂木町長、議長、スポーツ推進委員、地域公民館連絡協議会会長、商工会会長、旅料飲組台長等 事務局職員 員数36名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	茂木町は豊かな自然、美しい棚田等、豊かな地域資源に恵まれた地域である。しかし、その素晴らしさを体験できる機会が少ないこと、また、情報の発信が乏しいこと等により、町の魅力が十分に生かされていないため、平成24年度から、茂木町の自然や地域資源などの魅力の発信、観光PRを兼ねて里山ウォークを実施してきた。しかし、町外からの誘客への対応がまだまだ不十分であり、町の資源の活性化につながる継続的な観光客の確保が課題である。また、茂木町は著しい少子高齢化が進行する過疎地域に指定された中山間地域であり、日常の移動は車を利用し、ドアtoドアが習慣化され、町民の運動不足も課題となっている。
事業目的	<p>・茂木町の自然や地域資源といった新たな観光資源の魅力の創出</p> <p>・継続的な観光客の確保</p> <p>・町民の健康増進効果</p>
事業概要	<p>【平成28年度開催概要】</p> <p>＜開催日時・会場＞</p> <p>・10月30日(並松運動公園スタート/ゴール地点) ・参加者 1,293名(H27比+169名)</p> <p>今年度は、多くの集客が可能な並松運動公園が会場となり、新たな参加者の増加が図れた。</p> <p>＜検討委員会＞</p> <p>・里山の秋の魅力を感じていただけるウォーキング大会となるよう、コースやPR特産品を再検証した。</p> <p>＜情報発信＞</p> <p>・今年度は、同時開催のうまいもの市とPRの連携を図り、ポスターを県内だけでなく、茨城県隣接市町の店舗や専門店などにも掲示を依頼した。また、ホームページのほかに、SNSサイトからも情報発信を行い、新たな参加者の確保を図った。定住人口の増加へつなげていくためのPRも図れた。</p> <p>・東京ドームで開催した「全国ご当地マラソン大会PR活動」イベントに参加し、都内からの新たな誘客を図り、本事業をきっかけに、同時開催のうまいもの市への客の流れを作り、茂木町の魅力発信の相乗効果を図り、定住人口の増加へつなげていくためのPRを行った。</p> <p>＜観光(茂木町の魅力)PR＞</p> <p>・コース毎に、地域公民館や地域づくり団体による給水コーナーで、地場産の野菜などを活用した漬物やトン汁などを配布し、特産品のPRを実施した。また、特産品のプレゼント抽選会も実施した。</p> <p>・大会時に茂木町の観光資源が掲載したウォーキングマップ等を配布し、コース上で案内を行った。</p> <p>＜健康増進＞</p> <p>・気軽に参加できる健康増進イベントとして、町民のさらなる参加を呼びかけ(茂木テレビや区長文書等による)、運動の習慣化のきっかけづくりと健康寿命の延伸を図った。</p> <p>【平成29年度開催概要】</p> <p>・前年度の効果を検証し、移住につながる本町の魅力をPRするための方法の検討をしていく。</p> <p>・同時開催のうまいもの市と連携を強化し、さらなる客の往来の生まれる仕組みづくりを検討し、新たな観光客の確保を図る。</p> <p>・町民の参加を積極的に推進し、ウォーキングの習慣が習慣づくようにウォーキング教室も実施し、健康寿命の延伸を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:安心して定住・交流できる「まち」をつくる 数値目標:観光入込客数 H31目標値:3,000,000人/年、基準値(H27):2,659,932人/年</p> <p>基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる 数値目標:健康寿命の延伸(平均寿命) H31目標値83.0歳、基準値(H22):82.35歳</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度			支援期間の 事業費計	
もてぎ里山ウォーク大会の開催					
事業費	2,771,627			2,771,627	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,350,000			1,350,000	
うち県交付金	675,000			675,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,421,627	0	0	1,421,627	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	茂木町企画課企画係
担当者名	佐藤 雅美
電話	0285(63)5619
連絡先 FAX	0285(63)0459
E-mail	kikaku@town.motegi.tochigi.jp